

写真界ニュース

□ JCI フォトクリニック・黒白写真教室

フォトクリニック：撮影実習のほか、スライド映写による解説指導などを実施。

<期間>2004年1～3月(3カ月計6回開催)<講師>後藤九(中判カメラ教室) 一色一成、熊切圭介、菊地隆、木村恵一、中谷吉隆、齋藤康一、中田和昭、沼田早苗<定員>各コースとも約30名<受講料>¥15,000(JCIフォトサロンの会会員は¥11,000、初回のみ入会金¥3,000)

黒白写真教室：黒白フィルムでの撮影から、フィルム現像、プリント、仕上げまでを本誌「黒白写真の制作を学ぶ」でおなじみの鈴木先生が解説。

<講師>鈴木孝史<期間>2004年1～3月(3カ月計6回開催)<定員>13名<受講料>26,000円(友の会会員¥23,000)<申込方法> 電話またはJCIフォトサロン窓口にて、電話、インターネットまたはJCIフォトサロン窓口にて【問合せ】JCIフォトサロン (03)3261-0300

□ フジクロームフォトコンテスト

ベルビア100F・100・アステリア100Fの発売を記念し、リバーサル原板またはダイレクトプリントを対象にしたフォトコンテスト。

<部門・審査員>ネイチャー：竹内敏信、スナップ：熊切圭介、人物・ポートレート：立木義浩、乗物・スポーツ：中谷吉隆<賞>グランプリ各1名¥30万、金賞各3名¥10万、銀賞各5名¥5万、銅賞各10名¥1万、入選各50名<応募サイズ>リバーサル原板またはダイレクトプリント(4切、4P)<募集期間>2004年3月1日～5月31日<送付先>東京都葛飾郵便局私書箱27号「フジクロームフォトコンテスト」事務局

【問合せ】新製品発売記念フジクロームフォトコンテスト事務局 (03)5774-7612

□ 第5回ポラロイド・インターナショナルフォトグラフィーアワード

インスタント写真の国際フォトコンテスト。

<部門>芸術、商業、アシスタント、学生<審査>各部門ごとに3地域(北南米、ヨーロッパおよびアフリカ、アジア・パシフィック)にわたって行われ、その中から最優秀15名を選出、地域賞を贈呈、その中から地域、部門を問わずグランプリ、2位、3位を選出する<賞>グランプリ：盾、副賞(ニューヨークまたはブラハで行われるポラロイド20×24インチカメラのセッションへの招待とフィルム30枚贈呈)、地域賞：1,000米ドル相当のポラロイド商品<締切>2004年3月31日

【募集要項・応募票請求・応募先】港区虎ノ門3-2-2第30森ビル 日本ポラロイド(株)産業映像部「第5回PIPAコンテスト」係 (03)3438-8886

□ 第3回コニカミノルタタンチョウチャリティーフォトコンテスト

タンチョウ保護活動支援のポストカード用写真の募集。入賞作品で作製されたポストカードは1口¥1,000を寄付した人に進呈される。

<応募資格>アマチュアのみ<応募サイズ>2Lまでのカラー/モノクロプリント、デジタルプリント<賞>ポストカード(5枚1セット)10セット<応募>作品1点ごとに郵便番号、住所、氏名、電話番号、メールアドレスなど応募票の必要事項を記入<締切>2004年3月31日<発表>2003年4月中旬【応募・問合せ】〒085-1205 北海道阿寒郡鶴居村中雪裡南鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ「コニカミノルタ・タンチョウチャリティーフォトコンテスト」係 (0154)64-2620

□ サイバーグラフィックス本社移転

印画紙やインクジェットペーパーなどオリエンタルブランドの商品を展開するサイバーグラフィックスは、本社と東日本営業所を下記に移転した。

<所在地>〒101-0052 千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル6F<電話>本社 (03)3292-6691、東日本営業所 (03)3219-7632<業務開始>2003年12月1日

□ 2004年コンタックスカレンダー発売

広川泰士氏撮影による、樹木をテーマにしたカレンダー。樹木の生命力と圧倒的な存在感、人生の時を遙かに越えた年輪に想いを馳せたモノトーンのたいへん味わい深い作品に仕上がっている。デザインは上條喬久氏。

<サイズ>82.5(縦)×45.5(横)cm<発売>2003年12月初旬<価格>¥3,000

【問合せ】京セラ 0077-78-0500



□ カレンダープレゼント

コニカミノルタカメラ「with all～マディラ・アイランド～」

ポルトガル・リスボンの南西に位置する「庭園の島」マディラ・アイランド。そこには太陽の光に包まれた豊かな自然とともに(with all)営まれる日々の暮らしがある。島を流れる緩やかな時間と人々の表情を、写真のもつ映像力で構成している。このカレンダーを10名様にプレゼント。希望者はハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、職業を明記のうえ、本誌の読後感を添えて、編集部まで。<締切>2003年1月20日



□第51回ニッコールフォトコンテスト

ニッコールクラブ（江成常夫会長）は、2003年第51回ニッコールフォトコンテスト授賞式を去る11月21日、恵比寿ガーデンプレイス内のウェスティンホテルで行った。第1部モノクローム、第2部カラー、第3部ネイチャー、第4部テクノフォトの各部から、ニッコール大賞ほかさまざまな賞が授与された。応募総数は、40,711点。大賞の中から選ばれる長岡賞は第3部山崎泰氏の「厳冬の朝」が受賞した。



長岡賞・第3部ニッコール大賞「厳冬の朝」山崎泰

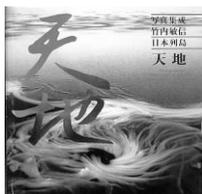


授賞式

【問合せ】ニッコールクラブ 電話(03)5321-9171

□新刊紹介

竹内敏信写真集成日本列島「天地」
竹内氏が25年の歳月をかけて撮影・発表してきた風景写真の傑作を集大成した写真集。日本列島の風景写真10数万点から選び抜かれた210点で構成されている。



29 × 29.5 cm、260p、本体 ¥19,000 + 税、発行：出版芸術社 (03)3944-6250
名機を訪ねて 戦後国産カメラ秘話 那和 秀峻 著
日本カメラ誌に同タイトルで連載した記事に書きおこし

を加え、戦後の名機27機種を紹介。メーカーの担当者とユーザーへの取材を行い、一体化した記事構成となっている。A5判、466頁、本体 ¥3,800 + 税、発行：日本カメラ社 (03)3666-4321
日影の富士 月影の富士 撮影ガイド2004

富士山に太陽がかかる日影の富士、月がかかる月影の富士の見られる場所、日時を掲載したデータブック。100カ所のポイントでのデータを掲載。

A5判、211頁、本体 ¥1,800 + 税、発行：ハンフリー（直販のみ）

(0426)61-8966

林檎の秘密 DIGITAL

すぐに役立つデジタル写真の基礎知識

これからデジタルカメラを使おうという人向けのテキスト。わかりやすいよう、作例写真、イラスト、チャートを多用し基礎の基礎から解説している。

A4判、64頁、本体 ¥2,800 + 税、発行：ペンタックスファミリー

(03)3580-0336

WEB版銘機礼讃 DVD Vol.1 ~ 8

メディアジョイがWebでストリーミング配信した、田中長徳氏出演による銘機礼讃のシリーズを、新たな撮り下ろしを加えてDVD化したもの。

価格 ¥1,580、メディアジョイ

(075)257-5435



読者の声

ハッセルSWCの特集を再度
技術的な記事をいつも楽しく読ませていただいております。いつか機会をございましたら、SWCのシリーズについて再度特集をお願いいたします。

佐藤隆俊さんがとても多く歴代Biogonをお仕事などで使われて撮り比べをしていらっしゃるようですので、ぜひコメントをいただいて記事にしてください。米国大手中古通販会社でも、1年前には、7~8台在庫があったSWCがいまは入荷するとすぐ売り切れ状態です。

いずれdigital backがもっと普及し、安価になれば、SWCやレンジファインダーカメラが撮ったその場で画像が見られたり、RFではレンズの撮り比べがすぐにできて、再び脚光をあびるかもしれません。コダックがニコンFマウントでフ

ルサイズdigitalを商品化できたことで、RFの広角にも可能性があったのでは、と素人の私など考えてしまいます。ぜひよろしく願いいたします。

東京都北区・沼賀千鶴子

デジカメは数年でフィルム（メモリー）入手不能

いまではクラカメの牙城とも呼べる貴誌ですが、デジカメ黎明期（QV-10以前）にはほとんど唯一と呼べるほどデジカメを扱っていた雑誌だった、というのおもしろい話です。

さて、先日ジャンクでリコーのDC-1を500円で確保しました。41万画素、3倍ズーム、これが当時は20万円でしたから、隔世の感があります。電池を入れると、しっかり動作してまずはラッキー、メモリーのPCカードを刺そうとすると今度は



ささらない！いまはなきタイプのPCカード対応だったのです！

超高級クラカメの条件にフィルム入手不可能というのがありますが、さすが進歩の早いデジカメ。わずか数年でその域に達してしまいました。つぎは5Vスマートメディア対応デジカメが・・・

東京都板橋区・佐野文彦
編集部では皆さまのおたよりをお待ちしております。手紙・FAXのほか、メールでも受け付けています。
dokusha@shashinkogyo.co.jp